

# ORTHOREBIRTH 沖縄研究所開設



## 沖縄に研究開発用の新拠点

ORTHOREBIRTHは2015年2月2日、沖縄研究所を開設しました。場所は沖縄県うるま市(那覇空港からクルマで約45分)にある沖縄ライフサイエンス研究センターの一室で、すでに最新機器の設置を済ませ、本格的な稼働のための準備に取りかかっているところです。本社でRebossisの製造を行い、沖縄では綿形状人工骨のさらなる研究・開発を推し進めていきます。

沖縄ライフサイエンス研究センター(うるま市字州崎5番8)は、沖縄県がバイオ・ライフサイエンス分野における科学技術の振興と産業化を目的に、ベンチャー企業や研究機関等が連携する研究・開発、ビジネス化のための中核施設として設置したレンタルラボです。鉄骨造り平屋の建物の延床面積は2970平方メートル、20室ほどのレンタル研究室のほか、さまざまな装置や機器が揃う共用実験室が設けられています。竣工は2013年3月29日、研究センターの管理運営はバイオ・サイト・キャピタル株式会社が行っています。

「充実した施設ですが、大切なのは研究の中身です。優秀な研究者が集まって、成果があがることを期待しています」とセンター長の後藤譲治氏は述べていますが、ORTHOREBIRTHもそうした期待に応えるべく、よりチャレンジングな研究に全力を傾けます。



上：沖縄ライフサイエンス研究センター外観。 中：研究室内部。  
下：研究センターの管理・運営を担当するバイオ・サイト・キャピタルのスタッフと記念撮影。右から、後藤センター長、スタッフの山里氏、益田氏、山城氏、そして弊社の西川社長。